



秋号のテーマ

☆新フードのご紹介 ☆犬猫種特異性疾患について

ジェイピースタイル ダイエティクス

jP STYLE Dietics

大手食品メーカーでお馴染みの「日清製粉グループ」からワンちゃんネコちゃん用療法食が新登場！

特徴

- ・安心安全
- ・徹底した品質管理
- ・原材料、製造工場共に国産
- ・おいしさ！味の追及！！

犬用

アレルギーセレクトカット

☆アレルギーになりやすい原料を不使用

療法食では珍しい半生の食感！



セミモイストタイプ

☆主原料は太刀魚、馬鈴薯デンプン、大豆、じゃがいも

100g×5パック(500g \2,499)

ドライタイプ

(1kg \2,499)

☆主原料はカツオブシ、馬鈴薯デンプン

- ◎基本的に全ての年齢で使用可能
- ◎保存料不使用なので、セミモイストタイプは品質保持のため100gの**小分け包装**がされています。
- ◎ドライタイプは酸化を防ぐために「**脱酸素剤**」を封入しています→誤食防止のため人の食品より大きい！
- ◎セミモイストタイプは食べが悪い子にフリカケとして使用しても良いです☆

猫用

ストルバイトブロック

ドライタイプ(500g \1,470)

- ☆ストルバイト尿石の発生、再発管理用療法食
- ☆ストルバイトおよび尿石の構成成分であるマグネシウムの含有量を制限
- ☆**副作用のない**特許成分「**フマル酸**」を配合し、尿pHを低下させてくれます
- ☆尿石管理の**維持食**としても使用可能
- ☆わんちゃん同様「**脱酸素剤**」を封入



とにかくおいしい！！

高い安全性

☆他社と比較して高い嗜好性が立証されています
☆当院の**スタッフ**も実際に試食しました！！

☆カビ、農薬、重金属(鉛、ヒ素等)、添加物などを細かく分析し、厳しい安全性審査をクリアしたもののみ使用！！

※基本的に注文購入となります

※味見サンプルをご用意していますのでお気軽にスタッフまで声をかけて下さい

犬猫種特異性疾患

ワンちゃん、ネコちゃんには種類によって患しやすい病気があります。今回はその一部を紹介いたします。ご自分の家のペットがなりやすい疾患を理解しておきましょう！！

ミニチュア・ダックスフンド



椎間板ヘルニア

椎間板(脊椎と脊椎の間に存在します)が飛び出し、脊髄を圧迫することで椎間板ヘルニアになります。ダックス、ビーグル、シー・ズーなどは軟骨異形成犬種と呼ばれ椎間板ヘルニアになりやすい犬種です。腰を痛がる、動きたがらない、脚に麻痺が見られる等の症状がある場合には病院で診察を受けましょう。

トイ・プードル



気管虚脱

気管は呼吸の際に重要な役割を果たしますが、気管虚脱の子は気管軟骨が弱くなり、呼気あるいは吸気の際に気管がつぶれてしまいます(虚脱)。特徴的な咳は「ガチョウの鳴き声」に例えられることがあります。トイ種での発生が多く、プードル、ポメラニアン、チワワ、ヨーキーなどでは若齢から発症することもあります。

チワワ



水頭症

水頭症は脳室内あるいはクモ膜下腔に過剰に脳脊髄液が溜まった状態をいい、旋回、発作などの神経学的な異常を示します。チワワやヨーキーなどの小型犬で多く見られます。

アメリカンショートヘアー



肥大型心筋症

肥大型心筋症は心筋が肥大することにより、心臓が血液を全身へうまく送れなくなります。症状が重くなると、呼吸困難や開口呼吸をするようになります。アメリカンショートヘアーやメインクーン等で多く見られますが、数が1番多いのは雑種猫になります。初期段階では症状がないために中々見つからないため、健康診断で早期に発見することが重要です。

ペルシャ



多発性嚢胞腎

多発性嚢胞腎とは腎臓に多数の嚢胞(ふくろ状の構造物)が形成されることをいいます。嚢胞形成は個体差はありますが比較的ゆっくりと進んでいき、除々に腎不全へと移行します。ペルシャ系の長毛種に多くみられます。健康診断で早期に発見して対応していくことが重要です。

今回紹介した疾患、犬猫種はあくまで一部です。

その他にも、キャバリアや小型犬で多い僧帽弁閉鎖不全症や、ミニチュアシュナウザーの高脂血症など、種により患しやすい疾患はたくさんあります。

上記の犬種猫種に当てはまる方は、一度チェックすることをお勧めします！

お知らせ

9月より簡易健康診断として“**簡単ドック**”が始まりました☆

。。。日常の健康管理の1つとして是非取り入れてみてはいかがでしょうか？☆